

丁寧な計測・記録で変化を把握 現場社員によって省エネ取組を推進

きっかけ

タカナシ乳業株式会社岡山工場（以下、岡山工場とする。）は、2003年に開設した。その後に ISO14001 の認証取得をきっかけに、積極的に省エネに取り組むことにした。各機器の見える化を行い、使用電力量の大きいものから取り組むことで、毎年成果を上げている。

取組の概要

近年では、エアコンプレッサの台数制御や、蒸気自動送気システムの導入、ボイラ押し込み送風機のインバータ化などを行っている。特に、ボイラの押し込み送風量をダンパー制御から、インバータ制御に変更したことで、取組前に比べ、使用電力量約 43.3%の削減を達成した。毎年取り組むことで、社員の省エネに対する意識が向上したと感じている。現在では、取組の発案は、現場社員からあがることが多く、工場一体となって省エネ活動を促進している。

ISO パトロール（見える化）

特に、岡山工場では、「ISO パトロール」と名付けている計測・記録を丁寧に取り組んでいる。エア漏れや蒸気漏れがないかなどを確認するため、電気のほか、水道や燃料についても毎月目視などで調べている。電力量は、誘導形電力量計が各機器に設置されているため、これらを目視にて確認している。電力計が多数あり、確認に手間がかかるが、人が時間をかけて行うことで、小さな変化にも気づきやすいと感じている。また、そのデータを蓄積し、前年度との比較や使用量の順位付け、省エネの取組の前後での比較など、丁寧な見える化を実施している。これにより、改善できる可能性がある機器を見つけ出し、省エネ活動につなげている。

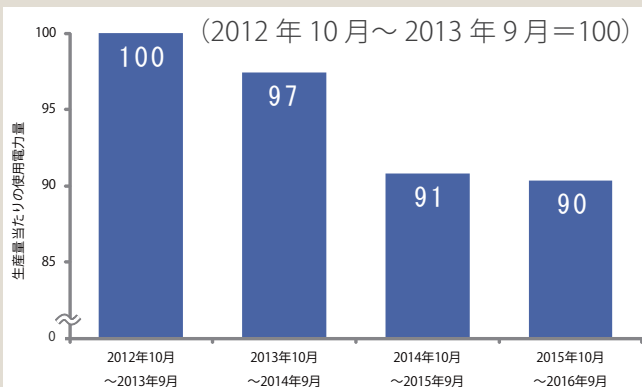
点検方法などの講習会の開催

2016年には、現場社員による省エネ活動をより推進するため、スチームトラップのメーカーによる点検方法などの講習会を、社内の省エネ委員を対象に開催した。開催後は、より多くの社員へ周知するため、受講した社員による講習会を複数回実施している。

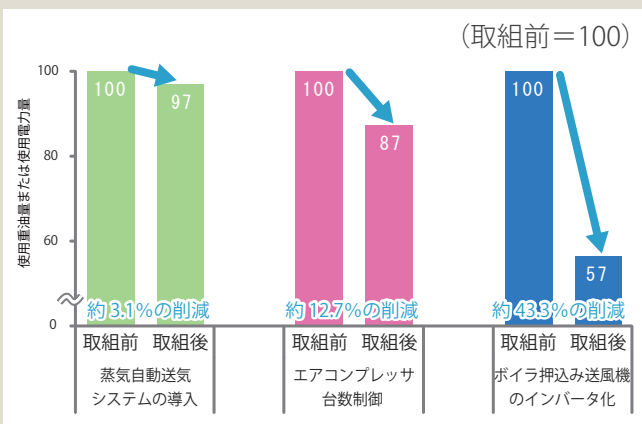
【主な取組の内容】



- ISO パトロール（見える化）
- エアコンプレッサの台数制御
- 蒸気自動送気システムの導入
- ボイラ押し込み送風機のインバータ化
- 保温カバーの導入
- 冷蔵庫照明の LED 化
- ブースターコンプレッサの導入
- ブラインチラーの導入
- 点検方法などの講習会の開催



▲近年の取組の成果



▲各取組の省エネの効果

名称：タカナシ乳業株式会社 岡山工場
所在地：岡山県倉敷市片島町 187-1
連絡先：086-465-4011（代表）
事業内容：牛乳、加工乳、乳飲料などの製造
従業員数：約 800 名（タカナシ乳業（株）全体）

これからの取組

今後もまずは、現状の機器の運用方法を見直して、省エネに取り組みたい。定置洗浄装置などのリンスの見直しや削減、ブラインチラーの夜間停止を検討している。

鳥取県

島根県

岡山県

広島県

山口県